

今年 7 年度南三陸町議会 6 月会議 一般質問通告書

通告 1 番 三浦 清人 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 交流人口の拡大について

質問の相手 町長

質問の要旨 魚竜館建設の見通しは。

2 件目

質問件名 防災、減災について

質問の相手 町長

質問の要旨 海拔 30M 以下の区域内に避難所が設置されている箇所の変更は。  
自主防災組織の現状と強化。

通告 2 番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 町道の維持管理について

質問の相手 町長

質問の要旨 今年も梅雨の時期を迎え、道路等の被害が心配される中、道路のあちこちに広く水たまりが出来ているところが見受けられる。通行に支障がないように整備する必要があると思うが次の点を伺う。

- 1 道路横断側溝のグレーチングの段差の解消は。
- 2 道路ガードレール下の白線が見えるように処理が必要では。
- 3 側溝の土積による排水の支障の解消は。
- 4 通学路における白線の消滅部分の復旧の対応は。
- 5 道路除草協力で油代の補助ができないのか。

2 件目

質問件名 鳥獣被害対策の強化を

質問の相手 町長

質問の要旨 現在もまた、イノシシ被害があちらこちらから聞こえている。稲作も順調に進み、畑仕事も今後進むものと思われる中、これから秋の収穫時期に向けて農家の皆さんが丹精込めて作る作物の被害を最小限にとどめるために、今から対策を強化する必要があると思うが町の考えは。

通告 3 番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

質問の相手 教育長

1 件目

質問件名 教育現場の現状と課題

質問の相手 教育長

質問の要旨 新年度から教育委員会教育長に小松教育長が就任しました。去る3月まで教育現場で活動をしており、現場の状況には明るいものとの認識のもとに次の点について伺う。

教育委員会では行きたくなる学校づくりを推進しているが効果と課題を伺う。

通告4番 阿部 司議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 米価高騰と地域農業の現況について

質問の相手 町長

質問の要旨 昨年より食糧価格の高騰が続き、取り分け米価については消費者不安を招き、政府備蓄米をも放出し農政不安が起こっている。

ついてはこうした社会情勢の下、当町の地域農業の現況と今後の取り組みにつき以下の点を伺う。

- 1 食糧価格高騰要因の情報収集状況と今後の影響等について
- 2 年度末時点の地域計画のとりまとめ状況と課題について
- 3 今後の地域農業の課題と取り組みについて

2 件目

質問件名 熱中症対策義務化の対応について

質問の相手 町長

質問の要旨 厚生労働省は、本年6月より熱中症対策を罰則付きで義務化にする省令を公布した。

ついては町の対応及び事業者への影響等の考えを伺う。

- 1 近年の熱中症発生状況と救急搬送等の件数について
- 2 義務化の内容と事業者への周知の対応等について

3 件目

質問件名 地方創生の諸施策の考えについて

質問の相手 町長

質問の要旨 地方の人口減少は年を追うごとに深刻化し、大きな社会問題になっている。こうした背景のもと国では地方創生の各支援策を検討しているが、当町の課題と方向性の以下の点につき考えを伺う。

- 1 地方創生推進の諸施策の現状と課題について
- 2 二地域居住施策の考えについて

通告 5 番 後藤 伸太郎議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 公営住宅を取り巻く環境の今後は

質問の相手 町長

質問の要旨 災害公営住宅は入居から 10 年が経った団地もあり、入居率などに変化が見られ、既存の町営住宅は老朽化が著しい。19ヶ所ある公営住宅の今後の方向性は。

- 1 古い町営住宅の今後の見通しは。
- 2 災害公営住宅の家賃の推移は。
- 3 各団地の入居率と、共益費の状況は。
- 4 コミュニティ維持の不安要素は。
- 5 公共施設維持管理基金の効果的な運用の検討は。

通告 6 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 道路改修工事に伴う現地調整について

質問の相手 町長

質問の要旨 震災からの復旧工事や復興事業も終わり、通常の道路整備計画が実施されているが、工事を進めるにあたり関係機関との調整は万全なのか伺う。

- 1 町道石泉線歌津駅から浄化センターまでの道路拡幅工事が終わり、通行車両の往来が生活環境に直結しています。  
電柱が道路にはみ出したままになっているが、なぜこうなっているのか原因を伺う。
- 2 電柱移設の予定を伺う。
- 3 他の地区にはこのような調整不足状況などがあるのかどうか。

2 件目

質問件名 町内のごみ処理状況について

質問の相手 町長

質問の要旨 震災から 15 年目に入り人口減少が危惧されている中、ゴミ処理委託料が変わらないでいる。環境の変化も考えられるが要因を伺う。

- 1 当町の可燃ごみは気仙沼クリーンセンターに依存しているが、今後もこの方法で実施していくのか。
- 2 ゴミの問題は各市町広域で考えるべきではと思うが、今後の計画を伺う。
- 3 不燃物処理事業としてクリーンセンターと草木沢処理場が稼働されているが、大変有難く町民の利便性が大である。今後の施設管理について伺う。

通告 7 番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 誰もが QOL を高めていく福祉環境づくりを

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 人口減少が進む社会の中では、産業経済、地域交通、教育、医療・介護、防災などあらゆるカテゴリーでマンパワー不足が加速しているが、具体的な解決策を見出すことも簡単ではない状況である。その中で、地域の限られた人的資源を最大化し地域力を高めていくためには、多様な力、潜在的な力を引き出していく方策も必要と考える。QOL を高めていく福祉環境づくりは、地域力向上や活性化にも繋がっていくと考え、以下について伺う。

- 1 支援を必要とする方々への就労や学習支援、社会参加など QOL 向上のためのサポート体制づくりは。
- 2 公共施設のユニバーサルデザイン化についてさらに進めていく考えは。
- 3 地域の支え合いを持続可能にする仕組みづくりの考えは。

2 件目

質問件名 主体的な地方創生施策の推進を

質問の相手 町長

質問の要旨 人口減少社会におけるまちづくりの課題は、町単独では解決や改善が難しいものが多い。国や宮城県と連携してまちづくりをしていく必要がある状況において、「もの、お金、コト」をダイナミックに動かしていく活力は「ひと」に他ならない。震災復興の原動力も町民と町外から関わった皆さまとの力の融合であったことを思うと、町全体で主体的に町外の方々との関わりをより広げ、強め、関係し続けることが今後も必要と考える。

地方創生施策における今年度の取り組み、及び今後また主体的に取り組むべき施策について考えを伺う。

- 1 地方創生伴走支援制度を採用した目的は。
- 2 CIO 補佐官委託制度を採用し目指すものは。
- 3 二地域居住政策推進の考えは。

通告 8 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 地域コミュニティの醸成について

質問の相手 町長

質問の要旨 社会状況の変化に伴う、地域コミュニティの醸成の為の支援策が必要ではないか。

- 1 コミュニティ醸成のための、現状の補助金、助成金、謝金等の支援策の

状況について。

- 2 高齢化などに伴う、毎年度、毎月集められる区費などの軽減策について。
- 3 戸倉神社の御神輿も、今年執り行われるなど地域の行事が復活しつつある。地域ぐるみで行われるスポーツ大会や行事への支援の必要はないか。行政としても仕掛ける必要はないか。

## 2 件目

質問件名 生涯スポーツの振興

質問の相手 教育長

質問の要旨 スポーツ観戦やEスポーツなども大切だが、実際カラダを動かし汗を流すスポーツも健康面、爽快感、幸福度を増すために必要ではないか。当町における生涯スポーツ、ニュースポーツ等への取組みについて伺う。

- 1 テニスコート、屋内運動場、教育財産等の活用の現状、今後の更なる利活用について。
- 2 教育長の生涯スポーツ振興に対する考えについて。
- 3 ニュースポーツ普及への取組みについて。

昨今、テニスとバトミントンと卓球を合わせたピックルボールというスポーツが、アメリカや国内でもジワジワ広まりつつあるという、子供でも大人でも親子でも楽しめるスポーツで最適だと思えるが、推進するに値するか所見を伺う。